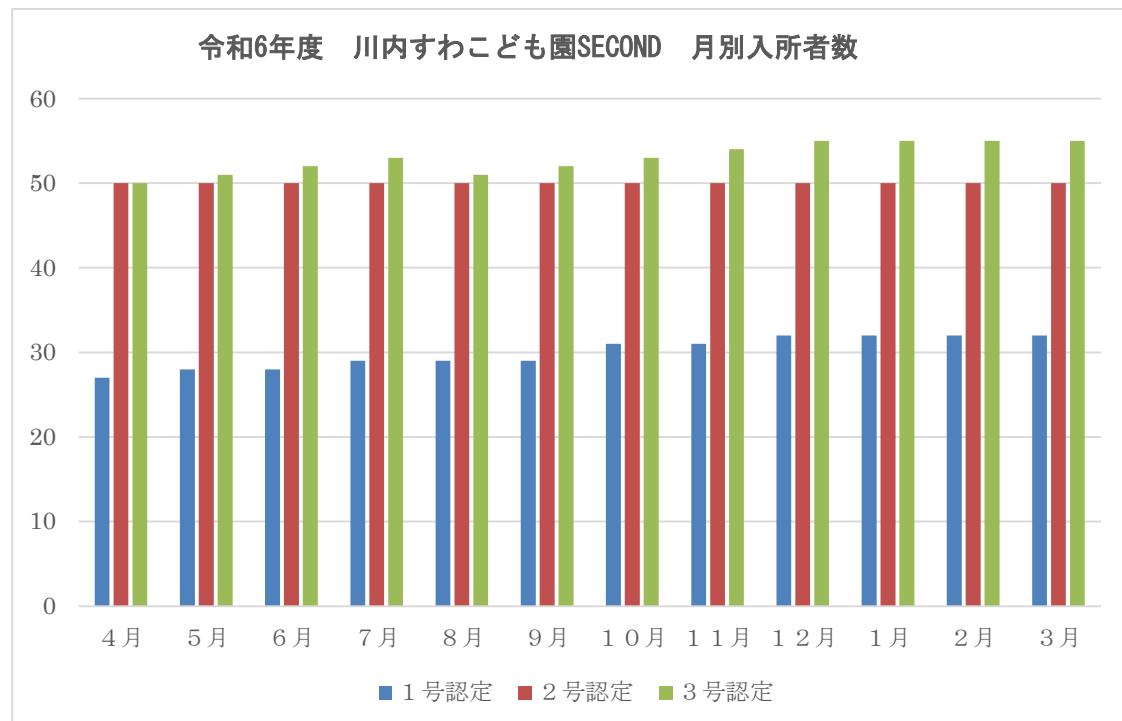


令和6年度 事業報告

幼保連携型認定こども園 川内すわこども園SECOND

1. 事業年度 令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月 31日
2. 受入年齢 生後2ヵ月から就学前まで
3. 開所時間 午前7時から午後7時まで（延長保育含む）
4. 定 員 125名（1号認定35名、2号認定45名、3号認定45名）
5. 総職員数 43名（園長（社会福祉士）、副園長、主幹保育教諭、副主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、管理栄養士、看護師、調理員等）
6. 令和6年度 月別園児数

| | 1号認定 | 2号認定 | 3号認定 | 合計 |
|-----|------|------|------|------|
| 4月 | 27 | 50 | 50 | 127 |
| 5月 | 28 | 50 | 51 | 129 |
| 6月 | 28 | 50 | 52 | 130 |
| 7月 | 29 | 50 | 53 | 132 |
| 8月 | 29 | 50 | 51 | 130 |
| 9月 | 29 | 50 | 52 | 131 |
| 10月 | 31 | 50 | 53 | 134 |
| 11月 | 31 | 50 | 54 | 135 |
| 12月 | 32 | 50 | 55 | 137 |
| 1月 | 32 | 50 | 55 | 137 |
| 2月 | 32 | 50 | 55 | 137 |
| 3月 | 32 | 50 | 55 | 137 |
| 合 計 | 360 | 600 | 636 | 1596 |



1 児童処遇

(1) クラス編成

1年を通して各年齢別に6クラスで保育を行った。

| | | | |
|-----|------|-----|------|
| 0歳児 | ひよこ組 | 1歳児 | りす組 |
| 2歳児 | ぱんだ組 | 3歳児 | うさぎ組 |
| 4歳児 | こあら組 | 5歳児 | きりん組 |

(2) 健康管理

令和6年度は、川内すわこども園SECONDでは、感染症対策として園児・職員の手洗い・うがいの徹底や衛生管理を行い、保護者にも情報提供を行いました。日々の健康観察や健康診断、歯科検診の結果を記録・管理し保育に活用しました。SIDS予防や安全教育、災害時の避難訓練も実施し、安全な環境づくりに努めました。保健だよりを通じて病気予防などの情報発信を行い、保護者と連携しながら子どもたちの健康を支えました。

(3) 給 食

令和6年度は、子どもたちが「食べることって楽しい！」と感じられることを第一に、毎日のバイキング給食や食育に関するプロジェクトに取り組みました。自分でメニューを選ぶ体験を通して、栄養バランスを考えながら偏食を防ぐ食べ方を身につけることを目指しました。

近年、社会の変化により、子どもを取り巻く食環境にも影響が見られ、小食・過食・不規則な食事などが課題となっています。そうした中で、園では健康教育や食育を通して、望ましい食習慣や自己管理力の育成に努めました。今後も、健康的な食生活を楽しく身につけられるよう工夫を重ねていきます。

(4) 保育評価

令和6年度のSECONDの保育スローガンは「子ども同士、保育者同士★対話から生まれる保育」とし、子どもが主体となる保育の大切さと、保育者同士の連携・対話の重要性を改めて確認しました。職員一丸となって、笑顔あふれる温かい園づくりに努めました。今年度は公開保育や視察研修の受け入れが多く、園内の保育内容を「見える化」することに力を入れました。そのために、ドキュメンテーションやポートフォリオの活用を充実させ、子ども同士の対話や関わりを引き出す保育を意識しながら、保育教諭間の連携を強化しました。さらに、保育の質を高めるため、毎月1回の園内研修「学びの日」や外部講師による保育塾を積極的に実施し、職員が自己研鑽に励める環境を整えました。これらの取り組みを通して、保育の質向上とチーム保育の推進に努め、子どもたちが安心してのびのびと成長できる保育環境づくりを目指しました。

2024公開保育&講師・実践発表

- 5/27大豆生田先生とのキックオフミーティング講師
- 7/30スマートエデュケーション公開保育研修
31パネリスト（大豆生田先生）
- 9/5~6全国私立保育連盟青年会議東京大会第7分科会講師
- 9/11全国私立保育連盟広報部公開保育
- 9/21全国認定こども園協会九州大会公開保育
- 9/27園見学ツアー視察研修受け入れ
- 10/11姶良市民児協保育部会研修講師
- 10/18れいめい高校未来探求セミナー講師
- 10/24園見学・公開保育（宮崎県都城市）
- 10/29茨城県保育協会青年部DX研修会講師
- 11/7宮崎市、鹿児島市青年部公開保育&研修会講師
- 11/26水戸市青年部保育実践研究会講師
- 11/28広島市若手研修会公開保育&研修会講師
- 12/16福岡市保育協会セミナー講師

議案第1号-3 令和6年度事業報告案について

- 12/13川内高校Progressive可愛山セミナー講師
1/23～全国私立保育連盟保育総合研究大会（第6分科会講師）
2/3 熊本県より視察研修受け入れ
2/5 全国認定こども園協会鹿児島県支部施設長・保育者研修会講師
2/9 姶良地区建昌福祉会法人全体研修講師
2/13 志布志地区視察研修受け入れ
2/17 時設計より4園視察研修受け入れ

◆公開保育による振り返りと小学校接続：令和6年7月30日・31日場所：川内すわこども園SECOND

令和6年度はスマートエデュケーション主催で公開保育を行った。県内外から保育関係の方が2日間で120名以上参加し、保育や環境を見てもらった。午後からの研修会では、保育者自身の保育を振り返り、意見を交わしながら、お互いの保育の質を高めていく貴重な機会となった。また、2日目は日本保育学会副会長、日本乳幼児教育学理事でもあり複数のテレビにも出演している「大豆生田啓友先生」も来園し、保育について職員と振り返り、アドバイスをいただく事ができた。幼児教育の重要性を認識したり、非常に良い研修会となった。



◆認定こども園協会九州地区活性化研修会：令和6年9月21日（土）

令和6年度は認定こども園協会九州大会において公開保育を行った。県内外から保育関係の方が100名以上参加し、保育や環境を見てもらった。



◆ 令和6年度主な年間行事の報告

① 入園式：令和6年4月6日（土）場所：川内すわこども園SECOND

今年度は新入園児23名を迎える、親子での参加という形で行われたため、子どもたちは比較的落ち着いており、スムーズに進行することができました。保護者の皆様も入園を心から喜んでいる様子が印象的でした。

（入園式の様子）



② サマーキャンプ：令和6年7月19日（金）～20日（土）場所：北薩広域公園

年長児でサマーキャンプを行いました。子どもたちから「キャンプしたい！」「大きい公園に行きたい！」というリクエストがあり、北薩広域公園でのキャンプに決まりました。1日目は北薩広域公園で大型遊具を思い切り楽しんだ後、キャンプ場へ移動してスイカ割りやバーベキューを満喫しました。夜はみんなでお風呂に入り、映画鑑賞やたき火で作ったマシュマロサンドを楽しみました。また、当日誕生日を迎えた園児が2名おり、みんなでお祝いもしました。

2日目は朝のお散歩や手作りの朝食を楽しみ、公園を散策。思い出の品作りとして「たけとんぼ作り」も行い、盛りだくさんの内容に子どもたちは大満足でした。

（サマーキャンプの様子）



③ セカンドフェスタ（全年齢）令和6年9月14日（土）場所：サンドームせんだい

今年度もサンドームせんだいで運動会を開催しました。0歳から2歳児までは、親子競技や親子遊戯を中心に、家族と一緒に楽しむことを目標に取り組みました。

今年のテーマは『パリオリンピック』で、3歳以上の子どもたちは4つのチームに分かれて国別対抗戦を行いました。子どもたちは自分たちで競技内容を考え、作戦会議や練習を重ねて当日に臨みました。特にのぼり棒やリレーは、応援する側もハラハラドキドキの見応えある競技となりました。

（セカンドフェスタの様子）



④ 音楽の祭典：令和7年2月1日（土）場所：川内すわこども園SECOND

今年度の「音楽の祭典」もライブ配信で開催しました。園舎中に音楽があふれ、子どもたちはリズムに合わせてさまざまな活動を披露しました。異年齢でのダンスやICTを活用した発表、日頃の遊びをステージで行うなど、どの子も集中して取り組む姿が見られました。特に3歳以上の子どもたちは、この日のために自分たちで話し合い、何を発表するか決め、当日は堂々とステージに立つことができました。何よりもみんなの笑顔がとても印象的でした。

（音楽の祭典の様子）



⑤ 卒園式（年長児）：令和7年3月22日（土）場所：川内すわこども園SECOND

年長組の23名の子どもたちと過ごしたSECONDでの園生活は、私たち職員にとってもかけがえのない思い出がたくさんできた日々でした。子どもたちにはSECONDでの経験を胸に、小学校でも元気いっぱい頑張ってほしいと思います。とても感慨深い卒園式となりました。

（卒園式の様子）



7. 地域子ども・子育て支援事業

I 延長保育事業

保護者の就労形態の多様化、ライフスタイルの多様化、通勤時間の増加等に伴う保育時間延長の需要に対応することにより、児童の福祉の向上を図った。

延長保育実施時間) 18:00～19:00

平均対象児童数) 14名

年間延べ利用者数) 2,578名

年間実利用人数) 86名/125名中

補助基準額算定の基礎となる延長時間) 1:00

II 一時預かり事業（幼稚園型、一般型）

専業主婦等の育児の疲れの解消、急病や断続的勤務・短時間就労等の就労形態の多様化等に伴う一時的な保育に対する需要に対応するため、一時的な保育を行うことにより、児童の福祉の向上を図った。

| 月別 | 年間延べ利用児童数 | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 人数 | 99.0 | 87.0 | 82.0 | 67.0 | 52.0 | 65.0 | 43.0 | 38.0 | 43.0 | 42.0 | 40.0 | 35.0 | 693.0 |

※1日あたり4時間未満の利用児童については、2人で1人と算定：利用児童数=4時間以上の利用児童数+（4時間未満の利用児童数/2）

III 川内すわこども園その他の子育て支援事業

地域子育て支援センターtetote-てとて-（出張広場）

1 事業の目的及び内容

子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導及び子育てサークル等への支援並びに地域の子育てネットワーク間で連携を図り、地域の保育ニーズに応じた保育サービスを積極的に実施するなど、地域全体で子育てを支援することにより育児支援を図る。

2 事業内容

① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

- ・子育て親子が気軽にかつ自由に利用できる交流の場の設置
- ・子育て親子間の交流を深める取組等の地域支援活動の実施

② 子育て等に関する相談、援助の実施

- ・子育てに不安や悩みなどを持っている子育て親子に対する相談
- ・必要に応じて他の機関を紹介する等の援助の実施

③ 地域の子育て支援関連情報の提供

- ・身近な地域の育児や子育てに関する情報の提供

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・子育て親子や地域住民、スタッフ等への子育てに関する講習等の実施

（1）活動報告

① 開所日：隔週水曜日

② 開所時間：9：30～14：30

③ 参加費：無料

④ 活動の流れ

9：30～開所・受付・出席シール・自由あそび

10：30～おはよう

11：00～活動

12：30～さようなら

13：00～育児相談・自由あそび

14：30～閉所

2 令和6度事業評価

今年度も自主事業として、積極的に子育てサークルを開催しました。こども園の保育教諭による育児相談や利用者支援事業にも取り組み、地域の親子に丁寧に向き合うことで、地域との連携や協働が深まっていると感じています。子どもと一緒に遊びたいという親御さんも多く、保育教諭や支援員との交流、また利用者同士のつながりが子育ての不安や悩みを和らげる役割を果たしていました。

また、今年度は放課後児童クラブの設置を求める署名活動が保護者会により行われ、多くの要望が寄せられました。共働き世帯の増加や子育て支援の重要性が高まる中、放課後児童クラブの設置は地域の子どもたちの安心・安全な居場所の確保と、保護者の就労支援に欠かせないものであるため、その必要性は非常に大きいと考えています。今後も地域の声を大切にし、設置に向けてしっかりと取り組んでまいります。

令和6年度事業報告

幼保連携型認定こども園：すわこども園

1. 事業年度 令和6年4月1日から令和7年3月31日
2. 受入年齢 生後2ヶ月から就学前まで
3. 開所時間 午前7時から午後7時まで（延長保育含む）
4. 定員 90名（1号定員10名、2号定員45名、3号定員35名）
5. 総職員数 38名（園長、副園長、主幹保育教諭、保育教諭、臨時保育教諭、調理員、地域支援センター職員）
6. 地域子ども・子育て支援事業

I 延長保育事業

事業の目的) 保護者の就労形態の多様化、ライフスタイルの多様化、通勤時間の増加等に伴う保育時間延長の需要に対応することにより、児童の福祉の向上を図った。

延長保育実施時間) 18:00～19:00

平均対象児童数) 9名

年間延べ利用者数) 1,697名

年間実利用人数) 42名/94名中

補助基準額算定の基礎となる延長時間) 1:00

II 一時預かり事業（一般型、幼稚園型）

事業の目的) 専業主婦等の育児の疲れの解消、急病や断続的勤務・短時間就労等の就労形態の多様化等に伴う一時的な保育に対する需要に対応するため、一時的な保育を行うことにより、児童の福祉の向上を図った。

| 月別 | 年間延べ利用児童数 | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 人数 | 24.0 | 22.0 | 13.0 | 18.0 | 17.0 | 22.0 | 12.0 | 43.0 | 33.0 | 34.0 | 52.0 | 40.0 | 330.0 |

※1日あたり4時間未満の利用児童については、2人で1人と算定：利用児童数=4時間以上の利用児童数+（4時間未満の利用児童数/2）

III 地域子育て支援センター事業

1 事業の目的及び内容

(1) 事業の目的

子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導及び子育てサークル等への支援並びに地域の子育てネットワーク間で連携を図り、地域の保育ニーズに応じた保育サービスを積極的に実施するなど、地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより育児支援を図る。

(2) 事業実績

- ① 育児不安等についての相談
- ② 子育てサークル等の育成・支援
- ③ 地域の需要に応じた保育サービス等の積極的実施・普及促進
- ④ ベビーシッターなど地域の保育資源の情報提供等
- ⑤ 家庭的保育を行う者への支援

(3) 活動報告

- ① 開所日：毎週月曜日～土曜日（日・祝は閉所）
- ② 開所時間：10:00～15:00
- ③ 参加費：無料
- ④ 活動の流れ

9:30～開所・受付・出席シール・自由あそび

10:30～お集まり

11:00～その日の活動

議案第1号-4 令和6年度事業報告案について

- 12：30～さようならのあいさつ
- 13：00～育児相談・自由あそび
- 14：30～閉所

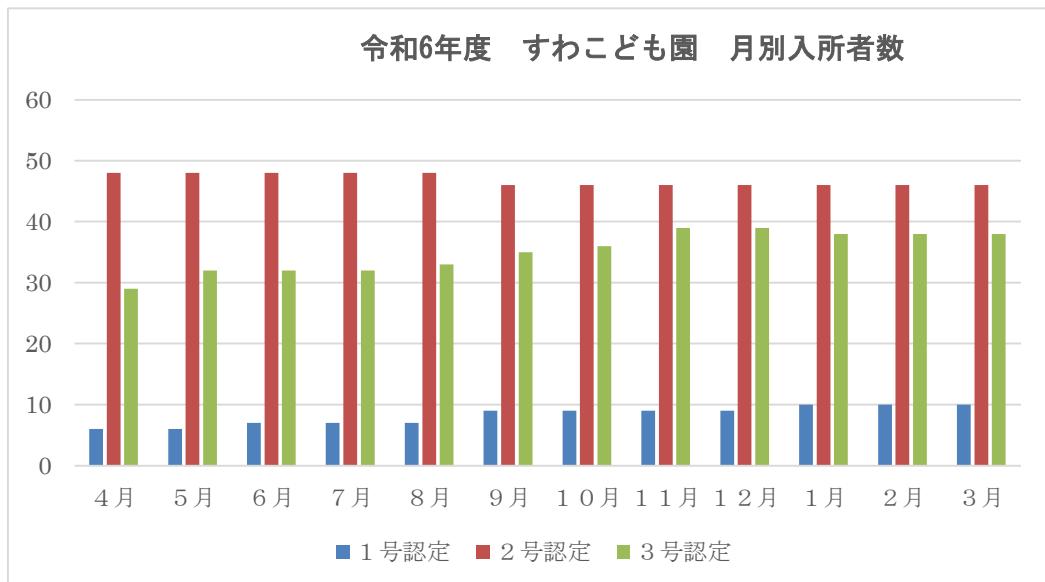
2 令和6年度事業の活動評価

令和6年度の地域子育て支援センター「すわっこ」では、「子育てを楽しもう！」を合言葉に、子ども同士・大人同士が自然に出会い、つながり合える場所づくりを進めてきました。誰もが安心して心地よく過ごせる空間と時間を大切にし、日々子育てをがんばる保護者の方々が心身ともにリラックスできるよう、支援活動を行ってきました。

「親が元気であれば、子どもも自然と笑顔になる」—この思いを胸に、一人ひとりに丁寧に寄り添うことを大切にしてきた結果、保護者同士が気軽に話し合い、共感し合い、刺激し合える関係が生まれ、また子どもたちにとっても、安心して遊びながら友達と出会う場になったのではないかと感じています。これからも、地域における子育て支援センターとしての役割と責任をしっかりと果たしながら、子育て家庭の多様なニーズに応え、気になる子どもの発達や保護者の不安にも寄り添っていきます。必要に応じて関係機関と連携し、一人ひとりに合った支援ができるよう、今後も取り組んでまいります。

7. 令和6年度 月別入所者数

| | 1号認定 | 2号認定 | 3号認定 | 合計 |
|-----|------|------|------|------|
| 4月 | 6 | 48 | 29 | 83 |
| 5月 | 6 | 48 | 32 | 86 |
| 6月 | 7 | 48 | 32 | 87 |
| 7月 | 7 | 48 | 32 | 87 |
| 8月 | 7 | 48 | 33 | 88 |
| 9月 | 9 | 46 | 35 | 90 |
| 10月 | 9 | 46 | 36 | 91 |
| 11月 | 9 | 46 | 39 | 94 |
| 12月 | 9 | 46 | 39 | 94 |
| 1月 | 10 | 46 | 38 | 94 |
| 2月 | 10 | 46 | 38 | 94 |
| 3月 | 10 | 46 | 38 | 94 |
| 合計 | 99 | 562 | 421 | 1082 |



1 児童処遇

(1) クラス編成

1年を通して各年齢別に6クラスで保育を行った。

| | | | |
|-----|------|-----|------|
| 0歳児 | ひよこ組 | 1歳児 | りす組 |
| 2歳児 | ぱんだ組 | 3歳児 | うさぎ組 |
| 4歳児 | きりん組 | 5歳児 | ぞう組 |

(2) 健康管理

子どもたちの健康を守るために、日々の保育の中でうがいや手洗いをしっかりと行うよう促し、朝の視診や体調の変化にも常に気を配ってきました。毎月行う身体計測では、骨格の異常や栄養状態の確認を行うとともに、保護者の方からのご相談にも丁寧に対応しました。3歳以上の子どもたちには、年2回（6月と11月）定期健康診断を実施し、6月には歯科検診も行いました。また、今年度は職員一人ひとりが手洗いやうがいを徹底するとともに、衛生管理や危機管理への意識を高め、園全体で取り組みを強化しました。

(3) 給食評価

給食の環境づくりについては、4月に全園児を対象とした嗜好調査を行い、子どもたちの食の好みを把握するとともに、保護者の皆さまからのご意見やご要望も積極的に取り入れながら、給食や食育の充実を図ってきました。また、給食の時間が単調にならないよう、食事の環境設定にも工夫をこらし、日々の食事が楽しみになるよう心がけてきました。これからも園ならではの特色を活かし、子どもたちにとって「食べることって楽しい！」と思えるような食育活動を展開していきたいと考えています。

(4) 保育評価

令和6年度の保育では、年齢に応じた保育の質の向上を目指して取り組んできました。0～2歳児クラスでは、ひとり一人に寄り添った丁寧な個別的ケアに重点を置き、安心して過ごせる環境づくりに努めました。3歳以上児クラスでは、異年齢での保育にも取り組み、年齢の違う子どもたちが一緒に生活したり遊んだりする中で、子ども同士が育ち合い、主体的に行動する力や思いやりの気持ちが育まれていったことを実感しています。また、子どもたちの表現力や創造力を引き出すことを目的に、アート活動にも積極的に取り組み、自由に表現できる環境づくりを進めてきました。今後も、感染症の拡大には十分に注意しながら、子どもたちの人格形成にとって大切なこの時期に、思いやりや人とのつながりを大切にする心を育てる保育を継続していきたいと考えています。

◆ 主な年間行事の報告

①第44回入園式：令和6年4月1日(木)場所：すわこども園

44回目を迎えた入園式、衛生管理の徹底を行いながら開催した。入園できたことに子どもたちそして保護者も非常に喜んでいた。

(入園式の様子)



議案第1号-4 令和6年度事業報告案について

②運動会（全年齢）：令和6年10月12日（土）場所：すわこども園

今年度もこども園で保育部、教育部分が開催された。当日は晴天にも恵まれ、思い出に残る運動会となった。特に年長児クラスのマーチングや年中クラスのバルーンなど素晴らしい演技ができた。

(運動会の様子)



③みんなの発表会：令和6年12月14日（土）場所：入来文化ホール

本年度も入来文化センターでの発表会だった。各クラスがそれぞれ遊戯、ダンス、オペレッタなどを披露した。年長組のヒップホップやダンス等本当に素晴らしい演技ができた。保護者の方々も子どもの成長に本当に感動した様子で非常に喜んでいた。

(みんなの発表会の様子)



④思い出ツアーア：令和7年2月15日（土）場所：鹿児島市内

令和6年度の思い出ツアーアーぞう組の子どもたちと鹿児島市内にお別れ遠足を行った。サーカスをみたり、お買い物に行ったりしてとても楽しい思い出ができた。

(思い出ツアーアーの様子)



議案第1号-4 令和6年度事業報告案について

⑤ たにぞうコンサート：令和 7年 2月21日（金）場所：川内すわこども園

令和6年度も創作うたあそび作家のたにぞうさんをお招きしてコンサートがあった。たにぞうさんと一緒に手遊びをしたり、歌を歌ったりしてとても楽しい思い出ができた。

（たにぞうコンサートの様子）



⑥ 卒園式：令和 7年 3月 8日（土）場所：すわこども園

令和6年度の卒園式も無事に開催することができた。一年間きりん組で楽しく過ごした子どもたち、卒園生のみんなは楽しい思い出を胸に、小学生になっても一人ひとり未来に向かって羽ばたいていってほしい。

（卒園式の様子）

